

2024年3月期 第2四半期決算説明会

株式会社 **アイチ** コーポレーション

2023年11月8日（水）



1. 中期事業計画
2. 収益拡大の柱
3. 環境・社会貢献の取り組み
4. 23年度第2四半期決算の業績
5. 23年度の業績見通し
6. 配当

(1) 社会的価値と経済的価値拡大のための中期事業計画（骨子）

社会・お客様にとって
「アイチでなければ困る」
と言われる企業へ

- 社会に貢献することを中核に据えた経営の実践
 - ・災害復旧時の社会インフラ復旧を支援する仕組みづくり
 - ・カーボンニュートラル社会を実現する開発・生産
 - ・地域社会への貢献と共生
- ダントツの信頼を獲得する絶対的プレゼンスの確立
 - ・商品のライフサイクルを通したお客様満足度の向上

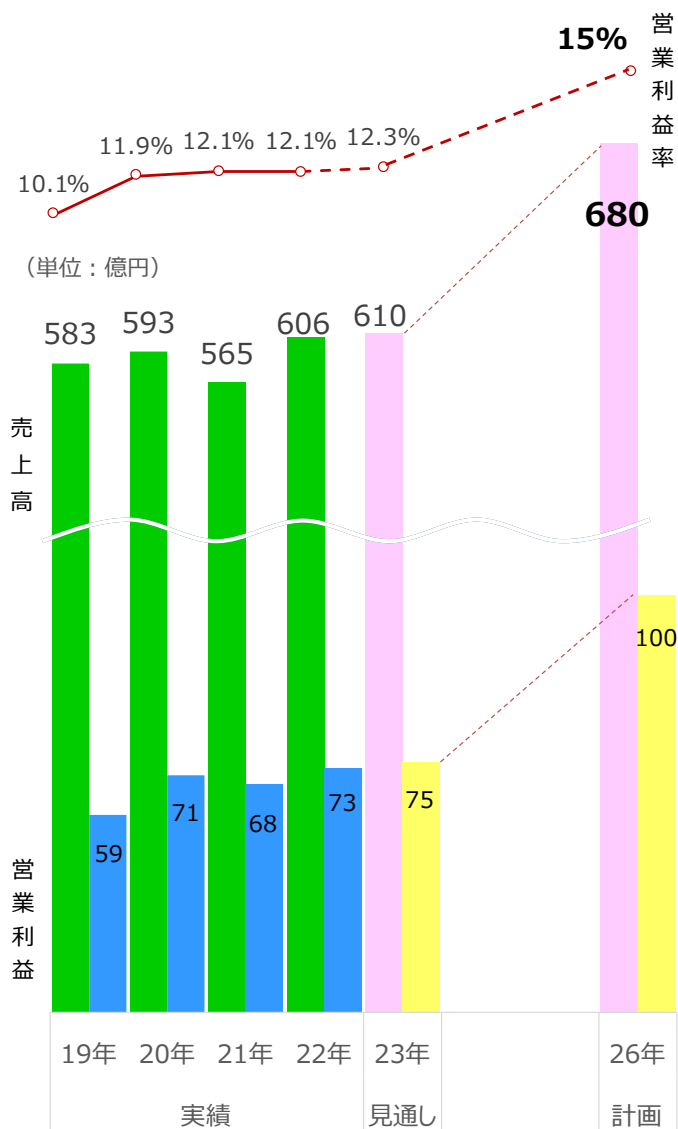
事業拡大と収益構造改革

- 成長市場・分野への積極投資
 - ・サービス事業への積極投資によるお客様満足度向上
 - ・関連事業の取り込みによる事業拡大
 - ・成長市場への新商品積極投入
- サプライチェーンの再構築
 - ・仕入先と一体となった活動によるQCDの競争力強化

中期的成長を支える
経営基盤の強化

- 腕、知恵、こころを継続的に高める人財育成の仕組みづくりと効果的運用
- 更なる安全意識高揚をめざした安全文化の構築

(2) 売上利益計画



- ・経営基盤の強化は継続実施
- ・事業拡大と収益拡大の取り組みを強化

【収益拡大の柱】

収益拡大の柱	想定売上拡大額/年 (億円)
① 新商品投入によるレンタル需要取り込み	20～30
② 新商品投入による付加価値拡大	5～10
③ サービス事業への積極投資による収益拡大 ・車検、重整備の取り込み ・予防整備の充実 ・カスタマイズ機能向上と架装内製化	25～30
④ 海外事業の積極展開	10～20
⑤ 売上拡大に対応する生産能力増強	—

1. 中期事業計画
2. 収益拡大の柱
3. 環境・社会貢献の取り組み
4. 23年度第2四半期決算の業績
5. 23年度の業績見通し
6. 配当

2. 収益拡大の柱

① 新商品投入による レンタル需要取り込み



**自走式高所作業車
RU09A1SM**

建設工事向け

クローラ式電動高所作業車

環境にやさしいバッテリー駆動を採用
作業現場で使いやすいコンパクトボディ
安全性と作業効率向上で現場作業を
サポート

② 新商品投入による付加価値拡大



**リチウムイオンバッテリー搭載車
SH15C**

電気工事向け高所作業車

高所作業車に搭載する電動ユニット用バッテリーを、急速充電が可能で充放電効率に優れたリチウムイオンバッテリーにすることで、お客様の利便性向上とCO₂排出量の削減に貢献



**7.5t架装軌陸車
LK12C1FN**

鉄道工事向け高所作業車

車両総重量を7.5t未満とし準中型自動車
運転免許に対応
高い機動力と安全機能の充実で夜間作業
の安全と効率化に貢献

2. 収益拡大の柱

③ サービス事業への積極投資による収益拡大

埼玉県上尾カスタマーサービスセンター新工場操業開始（2023年6月～）

- 車検、修理、重整備の取り込み
- レンタル事業者様等、自社整備を行っているお客様の点検・整備、再塗装などの受託



既に名古屋・仙台・福岡でも
車検を開始

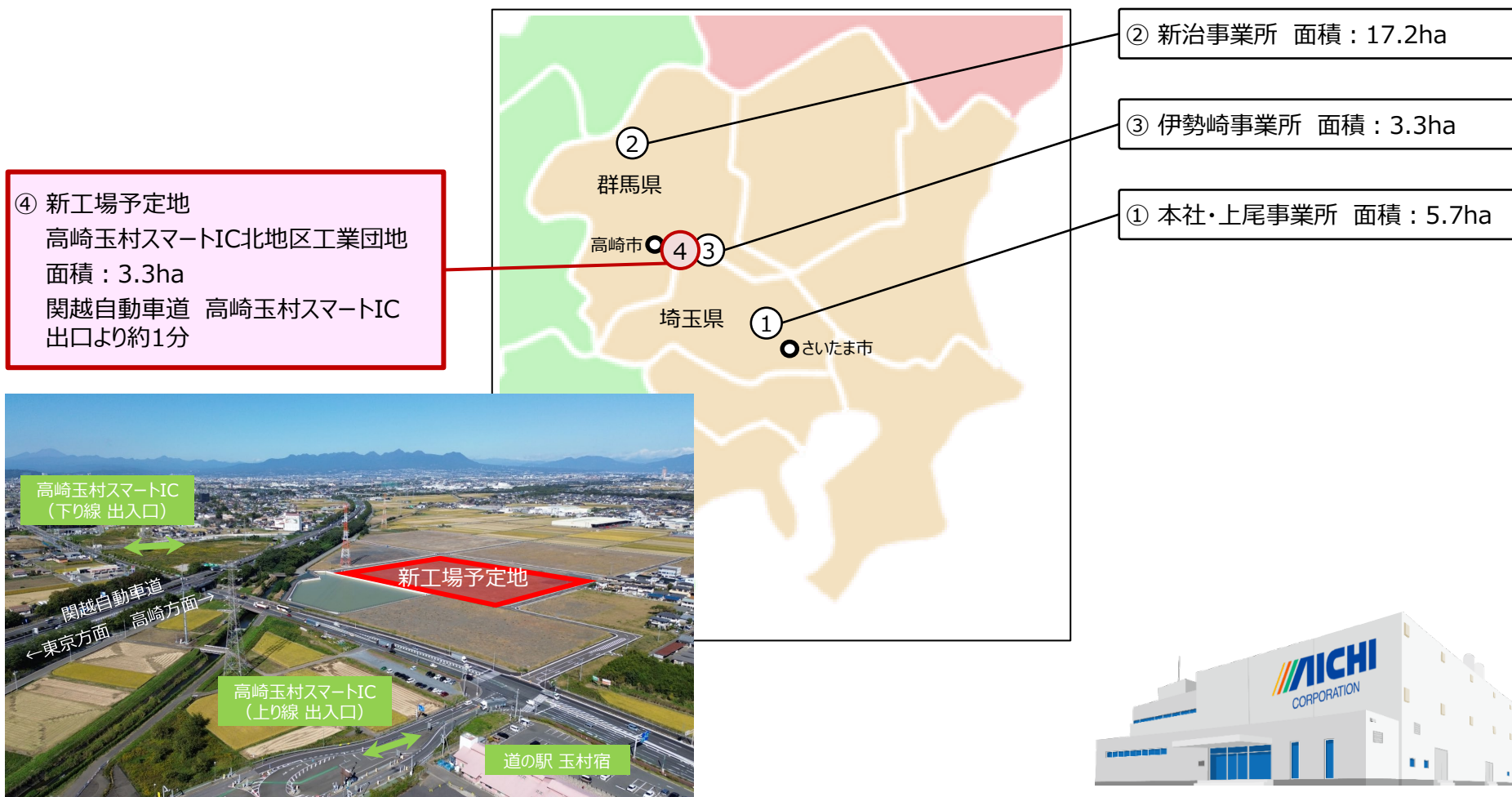
順次拡大予定



④ 海外事業の積極展開（現在市場調査中）

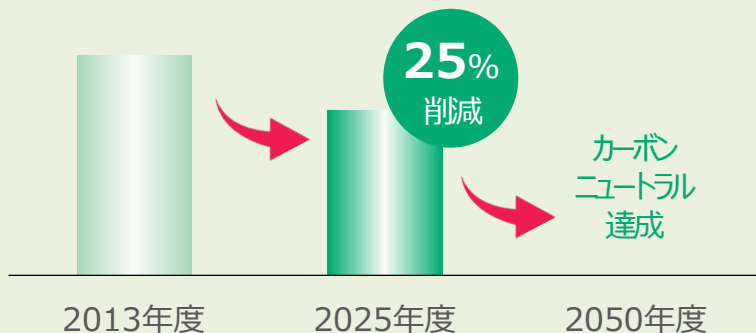
⑤ 売上拡大に対応する生産能力増強

- ・多機種生産への柔軟性、新工場と既存工場の再編による高効率生産体制の構築
- ・新工場は、全使用電力を再生可能エネルギーで賄うCO₂排出ゼロ工場を計画

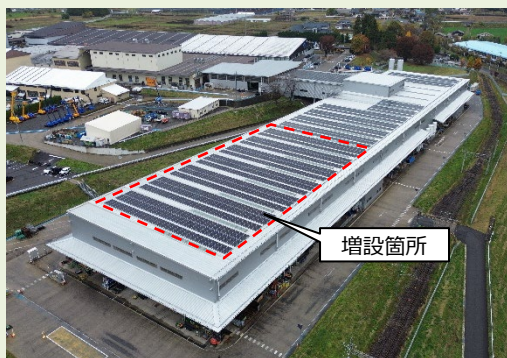


1. 中期事業計画
2. 収益拡大の柱
3. 環境・社会貢献の取り組み
4. 23年度第2四半期決算の業績
5. 23年度の業績見通し
6. 配当

【CO₂削減の取り組み】



主力工場である新治事業所においては、太陽光発電システムを増設（2023年10月より稼働）



リチウムイオンバッテリー搭載車等の電動化商品の拡大

【社会貢献活動】 災害復旧支援活動

お客様が災害復旧作業の現場で安全かつ迅速な工事を実現できるよう、「そなえる」「つながる」「つくる」の3本柱でサポートする取り組み「CAS」を推進



架空線へのかかり木や倒木の除去に対応できる作業車

体制（そなえる）

お客様を直接サポートする仕組みづくり

情報（つながる）

情報伝達/情報共有の仕組みづくり

もの（つくる）

災害復旧に向けた車両/装備開発



発電・蓄電・給電が可能な多目的電源車

1. 中期事業計画
2. 収益拡大の柱
3. 環境・社会貢献の取り組み
4. **23年度第2四半期決算の業績**
5. 23年度の業績見通し
6. 配当

第2四半期決算のポイント

1. 部品・原材料等のコストアップを原価改善活動と売価改定で吸収
2. シャシ供給問題を緊急対策で極小化したが大トラックマウント式の台数減
3. 主要顧客である電力・通信向けのマーケットシェアは向上
4. 小型自走式は、コロナ禍収束に伴う経済活動の正常化に伴い、台数増



前年同期比で、減収、営業利益増、経常利益減

4. 23年度第2四半期決算の業績

(単位:億円)

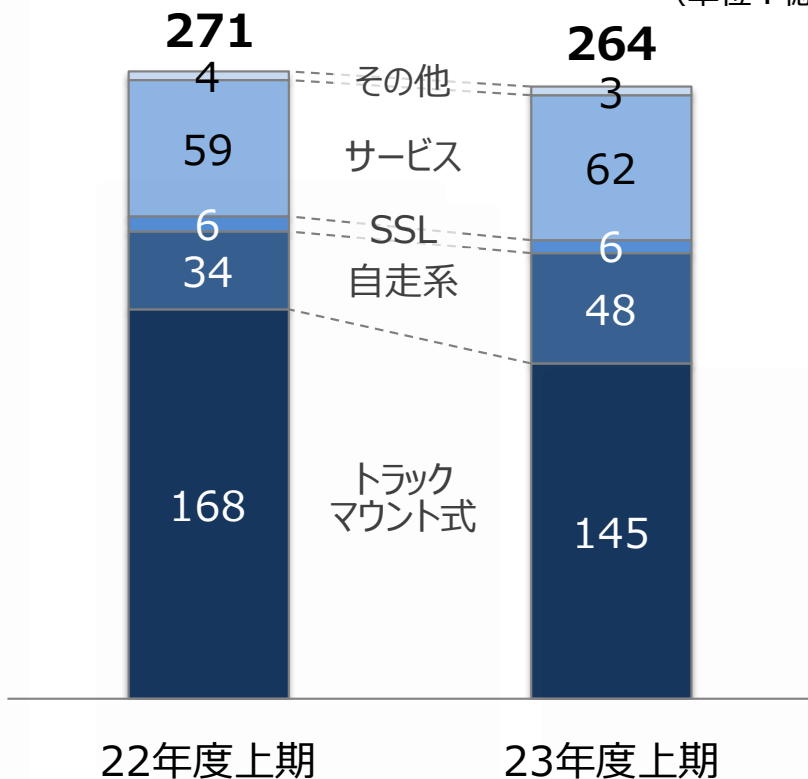
	22年度上期		23年度上期		増減額	増減率
	金額	%	金額	%		
売上高	270.9		263.9		△ 7.0	△2.6%
営業利益	24.5	9.0%	25.4	9.6%	0.9	3.7%
経常利益	29.1	10.7%	28.7	10.9%	△ 0.4	△1.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	20.7	7.6%	20.4	7.7%	△ 0.3	△1.4%
1株当たり配当金	中間	17円	中間	19円		
為替レート (USD)		135		140円		
設備投資額		3億円		6億円		
減価償却費		8億円		7億円		

※設備投資額にはリース資産分を含んでおります。

4. 23年度第2四半期決算の業績

セグメント別売上高

(単位：億円)



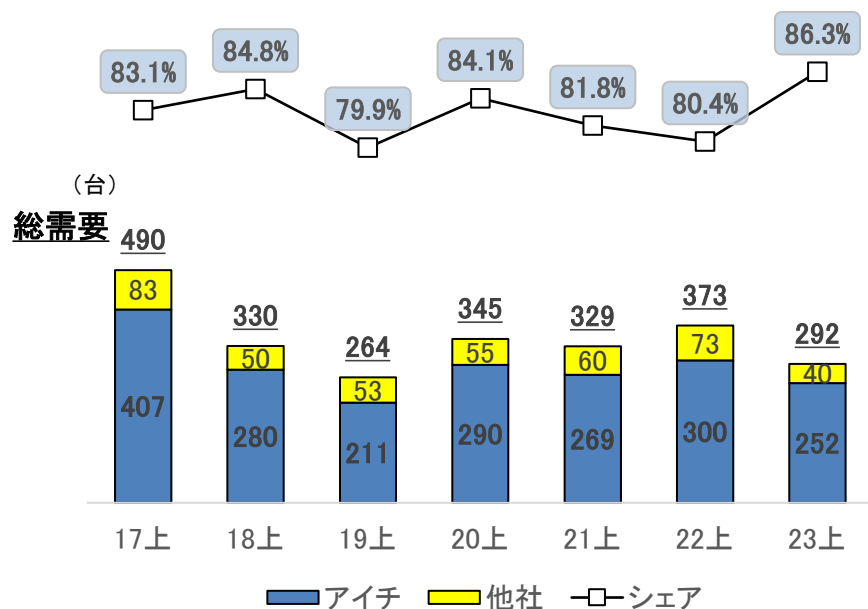
(単位:億円)

	22年度上期	23年度上期	増減額
(国内シェア)	(66.3%)	(69.3%)	(3.0%)
トラックマウント式	168	145	△ 23
うち海外	11	6	△ 6
(国内シェア)	(17.1%)	(23.0%)	(5.9%)
自走系	34	48	14
うち海外	10	9	△ 1
SSL	6	6	0
サービス	59	62	3
うち海外	4	5	1
その他	4	3	△ 1
合計	271	264	△ 7
うち海外	25	20	△ 6

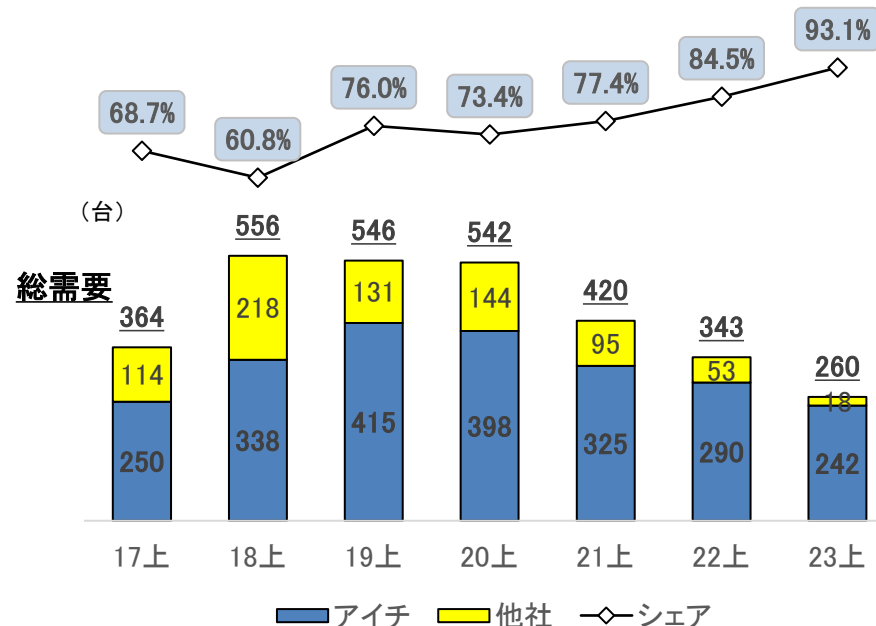
4. 23年度第2四半期決算の業績

トラックユニット式：電力・通信業界

電力シェア推移



通信シェア推移



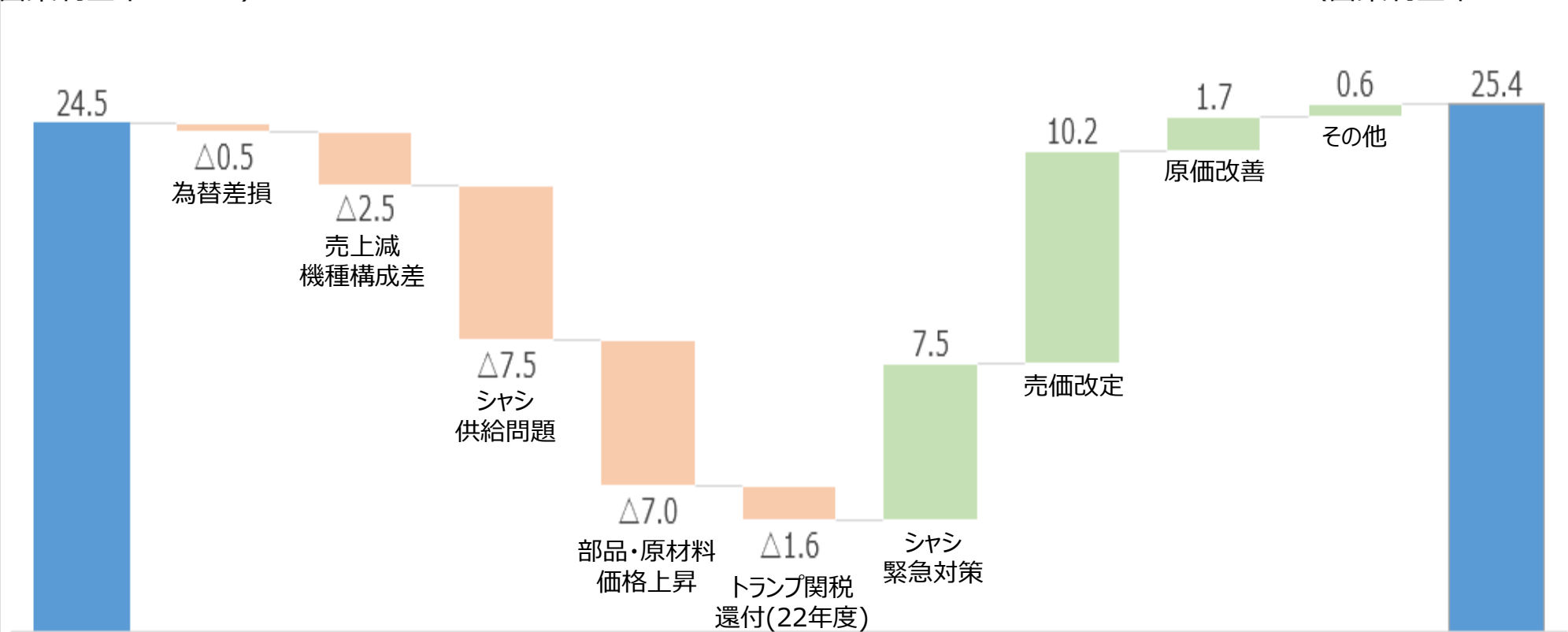
- ・電力、通信ともシェアは近年で最高水準
- ・23年度上期はシャシモデルチェンジ遅れによる影響で大手ユーザーの減少が大きく影響

4. 23年度第2四半期決算の業績

連結営業利益の増減要因

(営業利益率 9.0%)

(営業利益率 9.6%)



22年度上期

営業利益 +0.9億円

23年度上期

4. 23年度第2四半期決算の業績

貸借対照表

(単位:億円)

		22年度末		23年度上期末		増減額
		残高	比率	残高	比率	
資産の部	流動資産	676	70.6%	657	69.4%	△ 18
	固定資産	281	29.4%	290	30.6%	9
	合計	957	100%	948	100%	△ 9
負債・純資産の部	流動負債	149	15.6%	124	13.1%	△ 25
	固定負債	22	2.3%	23	2.5%	1
	負債 合計	171	17.9%	147	15.6%	△ 24
	純資産 合計	786	82.1%	800	84.4%	15
	合計	957	100%	948	100%	△ 9

1. 中期事業計画
2. 収益拡大の柱
3. 環境・社会貢献の取り組み
4. 23年度第2四半期決算の業績
5. 23年度の業績見通し
6. 配当

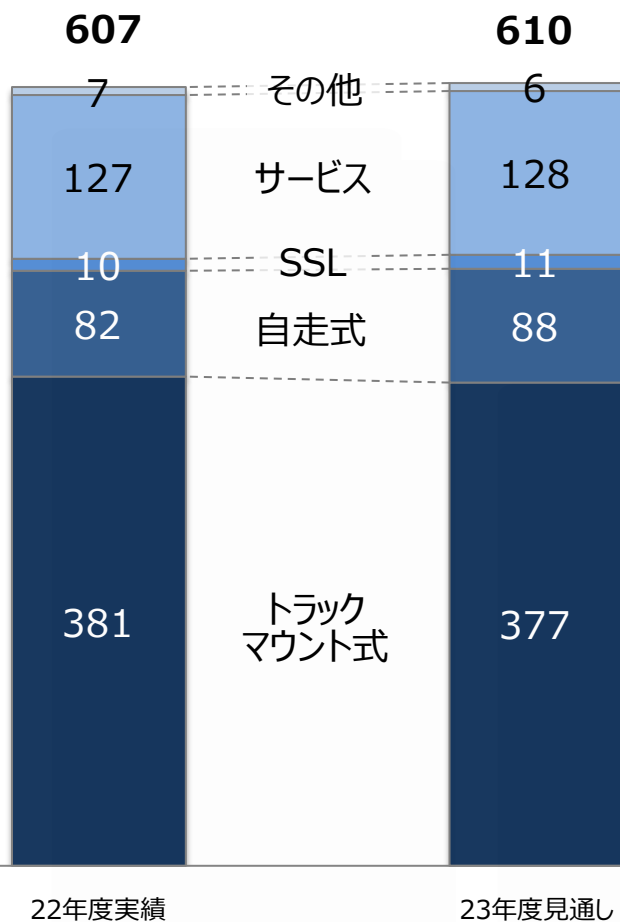
5. 23年度の業績見通し

(単位:億円)

	22年度実績		23年度見通し		増減額	増減率
	金額	%	金額	%		
売上高	606.7		610.0		3.3	0.5%
営業利益	73.5	12.1%	75.0	12.3%	1.5	2.0%
経常利益	80.1	13.2%	80.5	13.2%	0.4	0.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	59.5	9.8%	60.0	9.8%	0.5	0.8%
1株当たり配当金	中間	17円	中間	19円		
	期末	19円	期末(予想)	19円		
	年間	36円	年間(予想)	38円		
為替レート (USD)		133円		135円		
設備投資額		9億円		30億円		
減価償却費		15億円		16億円		

セグメント別売上高

(単位:億円)



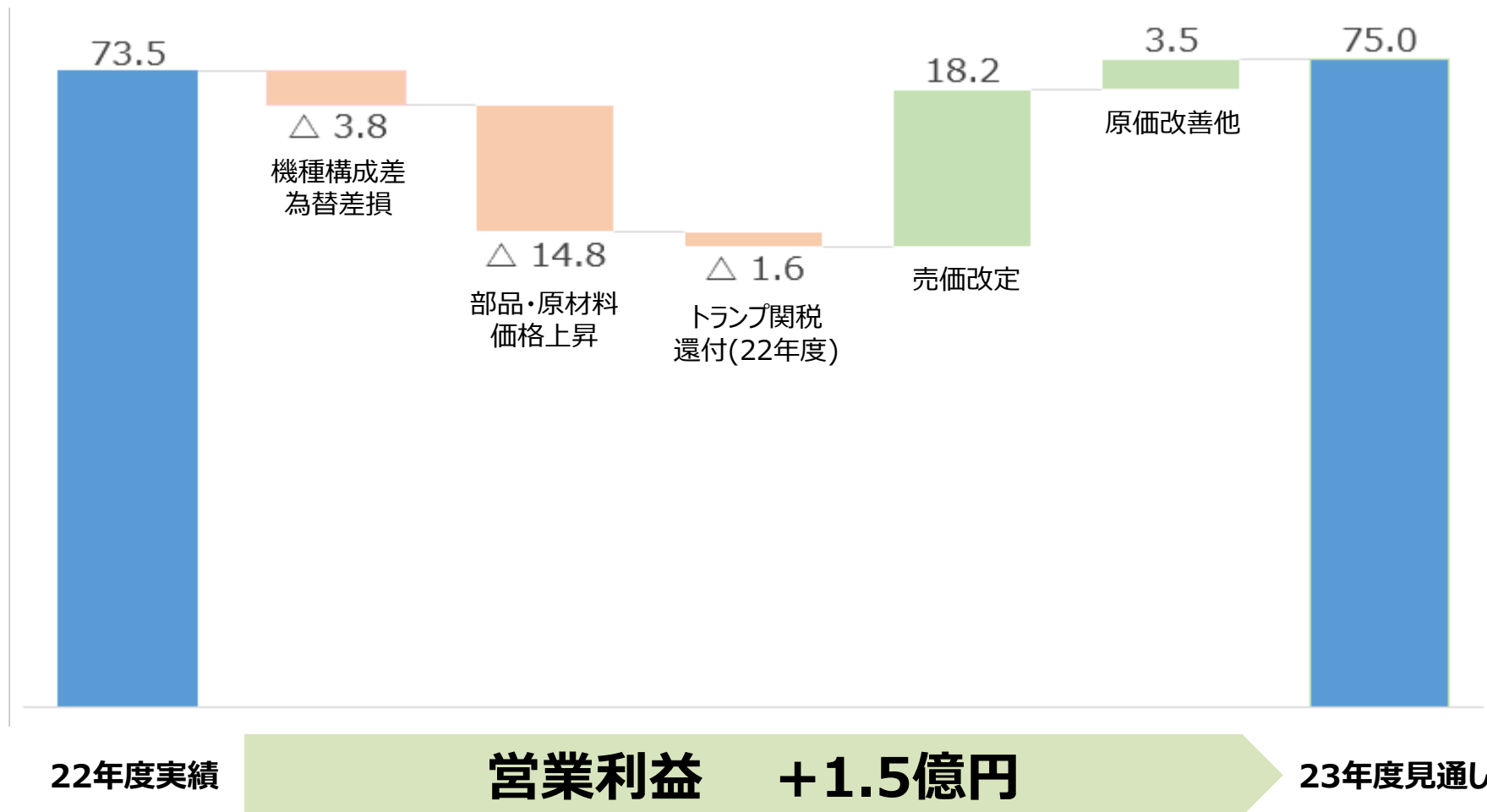
(単位:億円)

	22年度実績 金額		23年度見通し 金額		増減額
トラックマウント式	381	62.9%	377	61.8%	△ 4
うち海外	17	2.8%	17	2.8%	0
自走式	82	13.5%	88	14.4%	6
うち海外	19	3.1%	25	4.1%	6
SSL	10	1.6%	11	1.8%	1
サービス	127	20.9%	128	21.0%	1
うち海外	9	1.5%	11	1.8%	2
その他	7	1.1%	6	1.0%	△ 1
合計	607	100%	610	100%	3
うち海外	45	7.5%	53	8.7%	8

連結営業利益の増減要因

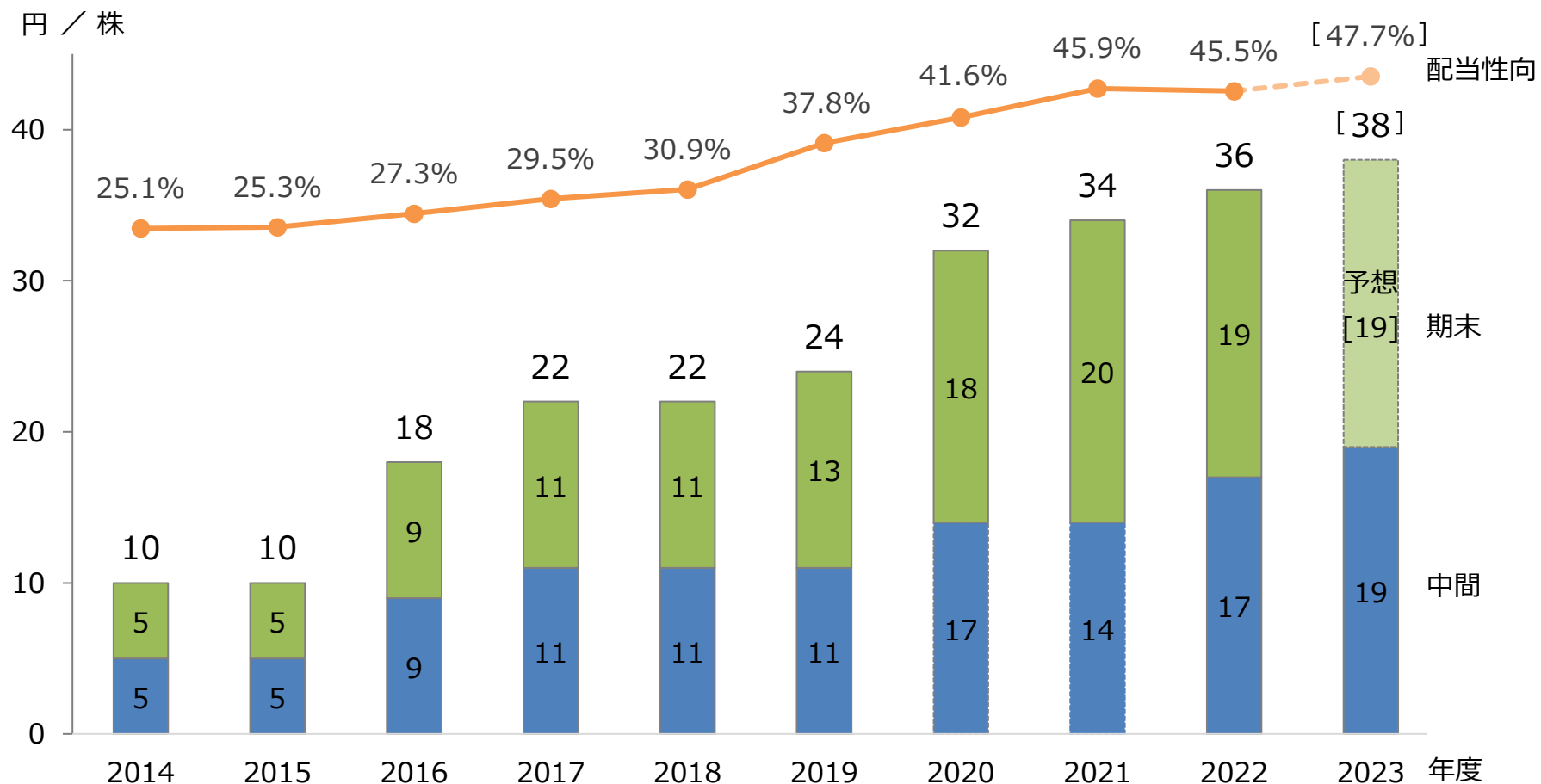
(営業利益率 12.1%)

(営業利益率 12.3%)



1. 中期事業計画
2. 収益拡大の柱
3. 環境・社会貢献の取り組み
4. 23年度第2四半期決算の業績
5. 23年度の業績見通し
6. 配当

1株当たり配当金と配当性向



【株主還元方針】

- 株主重視の観点から株主還元を安定的に向上させることを基本とし、2023年度より連結業績に対し総還元性向50%以上を基準とした株主還元を行ってまいります。

この配布資料に記述されている、弊社の予想、見通しは、現在入手可能な情報から得られた弊社の経営者の判断に基づいています。

従って、この業績予想に全面的に依拠することはお控え頂きたく、お願い申し上げます。

また、これらの数字に関しては、様々なリスクや不確実性により、大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

ここでのリスクや不確実性とは、弊社を取り巻く経済情勢、お客様環境、競合環境、関連法律・法規、為替レートの変動などが含まれます。

ただし、業績に与え得る要因はこれに限定されるものではありません。

以上